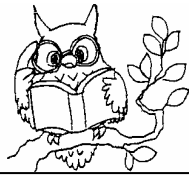


# 図書館だより

171



2009(平成 21) 年 3 月 13 日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山 1 番地

024-535-3218 fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>

## 県立図書館がさらに便利になりました！

県立図書館のカウンター配置が生まれ変わりました。これまで資料の主題別(地域資料、新聞・雑誌等)に分けて配置されていたカウンターを、**貸出・登録カウンター**や**調査相談カウンター**といった役割別の配置に変更しました。より効率的かつ機能的なサービスをご提供致します。どうぞご期待ください！

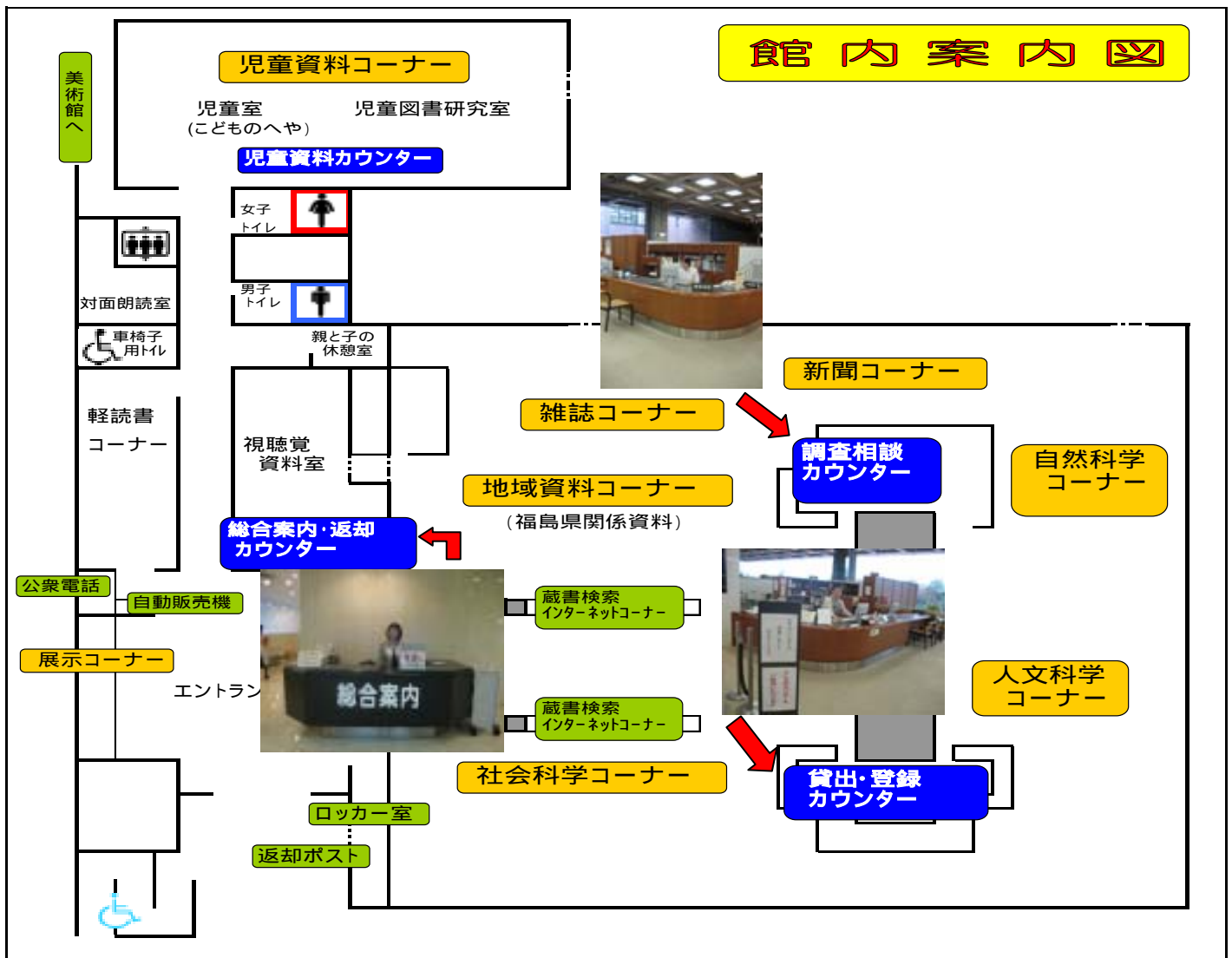
図書館の資料をご利用になりたい場合 **貸出・登録カウンター**にどうぞ！

調査の相談をされたい場合 **調査相談カウンター**にどうぞ！

資料のご返却、どこに問い合わせたらよいか分からない場合 **総合案内・返却カウンター**にどうぞ！

児童資料についての場合 **児童資料カウンター**にどうぞ！

## 館内案内図



# 新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

## 人文・自然

### 『文士のきもの』

近藤高枝 / 著 河出書房新社 910.26/コト08Y

現代では、きものを普段着として着用する人はほとんど見られなくなりました。織や色などきものに関する用語についても、理解しがたくなっているかもしれません。

本書は樋口一葉、永井荷風、谷崎潤一郎ら19名の近代作家を「きもの」という切り口から読み解き、時代の好尚、登場人物の性格などを分析しています。掲載されている作家たちの写真もすべてきもの姿。巻末には「引用出典一覧」があるので、明治～昭和初期の文豪たちのきもの世界に浸ってみてはいかがでしょうか。

『食の安全と健康意識データ集 2009』  
三冬社編集部 / 編集 498.54/ウチ086 (R)

食や健康に関する関心は高まっています。この本は、様々な団体が実施した食と健康に関する調査の統計資料集です。「食品の安全意識」から「乳幼児のけがと病気」まで広い範囲をカバーしています。同じテーマでも様々な切り口の調査があり、例えば「輸入食品の違反数」の統計があれば、「国産食品・輸入食品に対するイメージについて」のグラフもあります。研究や議論の基となるデータとしてたいへん重要な資料です。

## 社会

### 『カイシャ意外史 社史が語る仰天創業記』

村橋 勝子 / 著 日本経済新聞出版社  
335.21/ムチ08Y

誰もが知っている有名企業21社、その社史から読めるさまざまな会社の創業期のエピソード。これが実におもしろい！どの項も、当時の創業者やその家族の奮闘ぶりが目に浮かぶようで、ぐいぐい引き込まれます。また、こんなエピソードが社史から読めるの！？と驚くこと間違いなしです。巻末には社史の読み方も記されていて、本書を読んだ後には、きっと社史も読んでみたくなるはずです。

『統計でみる都道府県のすがた 2009』  
総務省統計局 / 編 総務省統計局  
361.91/ウチ042/6 (R)

ある項目について、県ごとにデータを比較したいとき、皆様は何をご覧になりますか。そんな時便利なのが本書です。本書は人口や自然環境から、経済、行政、教育、労働、医療、福祉等に至るまで、国民生活に関するさまざまな統計を都道府県別に一覧できるようになっています。中には、こんな統計までというものもあり、ぱらぱらめくだけでも楽しめます。館内をご利用いただく資料となっておりますが、調査研究にも、統計に興味のある方にも使える一冊となっておりますので、ぜひお手にとってご活用ください。

## 雑誌・新聞

ここ数年間で目まぐるしく状況が変化している「派遣社員」について、最盛期から世界同時不況による衰退までの移り変わりを雑誌記事からご紹介します。

『週刊ダイヤモンド』2001.4.14 発行  
ダイヤモンド社 Z330.5/S7

"派遣社員"ブームの舞台裏 (特集 会社人生適者生存の法則)

『週刊ダイヤモンド』2004.12.11 発行  
ダイヤモンド社 Z330.5/S7

派遣社員座談会 自分自身が選んでこだわる派遣社員という「生き方」(特集 人材派遣--急膨張の光と影)

『読売ウィークリー』2008.1.27 発行  
読売新聞東京本社 Z051/Y5

本当? 正社員よりずっとイイって 派遣社員「モテモテ」市場

『週刊東洋経済』2009.1.3 発行 東洋経済新報社  
Z330.5/T4

どこまで続くか「派遣切り」 不況による派遣削減の裏に「09年問題」回避の狙い?

『エコノミスト』2009.1.27 発行 毎日新聞社  
Z330.5/E1

「270万人大失業時代」の足音 「派遣切り」蔓延の"非情"事態 (雇用無残)

## 地域

『キムチの誘惑 神秘の発酵食をめぐる韓国快食紀行』  
小泉武夫 / 著 情報センター出版局 LA596.2/K1/1

今や、日本人が食べている漬物の中でもっとも多いと言われるほど身近になった韓国の伝統食・キムチ。そのキムチを小野町出身の農学博士・小泉武夫氏(東京農大教授)が、歴史から、種類や効能、キムチ料理の数々、そして材料のひとつひとつまでを丁寧に紹介した垂涎もののエッセイです。

『会津ものしり検定 もっと会津を知ろう』

会津ものしり検定委員会 / 編 築田 直幸 / 解説編集  
会津の文化づくり L291.6/A55/2

昨今のご当地検定ブームの中、福島県にも、「ふくしま通検定」(福島商工会議所)や「会津ものしり検定」(NPO法人「会津の文化づくり」)などがあります。

「会津ものしり検定」は会津への関心を高めてもらうことを目的とし、会津地域の歴史や人物、自然、文化などの知識を問う検定です。本書は、初級・中級・上級編に分かれており、初級編には、問題と回答だけでなく、詳しい解説も付いており、読み物としても楽しめる一冊となっています。

さて、ここで問題です。

「みしらず柿は、シブを焼酎などでぬき甘くしてから食べる。このシブをぬくことを( )という。」

「(ア)まびく (イ)ほす (ウ)さらす (エ)さわす」

(初級・会津ものしり検定より)